

中沢かつゆき 通信

自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



自民党鎌倉市連合支部幹事長

市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！

幹事長就任

20年ぶりに自民党公認候補として鎌倉市会議員に当選させていただき、3年が過ぎました。その後、自民党は衆議院選に大敗北を喫し、野党となりました。しかし、立ち止まってはいけない、と自民党神奈川県連合支部では、「かながわ自民党」として原点に立ち返り、より多くの国民の皆さんの声を聞き、より地元のご意見を伺うことで、失った自民党への信頼をもう一度取り戻そう、と活動を開始しました。鎌倉市連合支部では、青年局長として次代を担う子供たちの環境と防災対策を中心に活動を行ってまいりました。そして、自民党に対するご期待も多く頂けるようになって参りました。ようやく頂けるようになりました市民の皆さんのお声

をより実現していくために、自民党鎌倉市連合支部では、より組織の拡充を図り、政権奪還を成し遂げるため体制作りを行うこととしました。そして、役員会を開催し新たに「幹事長」を設置し、合わせて中沢市議が新幹事長に任命されました。県会議員・中村省司支部長の元、新体制で次期衆議院選を戦い抜き、政権を強固に担える地方組織となるよう活動をしてまいります。まだ未熟な若輩者ですが、より良い鎌倉のため、次代に残す鎌倉のために一生懸命努力してまいります。皆様の議指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

保育園と学童の入所条件の不備

保育園や学童保育に入園・入所するには、共働き家庭かひとり親家庭が条件となります。自宅で監護できる方がいるご家庭は入園できません。昨今の社会情勢で、経済的に仕事をしなくてはならないご家庭が増え、ひとり親家庭も増え、保育園の待機児童が非常に多くなっています。鎌倉市でも、毎年度当初で40人以上の待機児童がいます。市役所の保育課にも、何とか入所できないかという相談も多く、市として大きな課題となっています。一方、仕事をしているはずの昼間、市役所によく様々な要求をする保護者がいることに疑問を持ち制度を調べましたら、大きな問題がありました。共働きなどで働いていることを証明するために「就労

証明」の提出が必要です。つまり、「就労」していないと保育園には入園できません。これから働きたい、という方が入園できないのはこの「就労証明」がないからです。しかし、自宅で仕事をしている方などは「自分」で働いている証明をします。自己申告なのです。この制度を悪用すれば、まだ働いていなくても「働いている」ことにして入園・入所できてしまうのです。何とか働こうとしても子どもを預けられない保護者がいる一方、虚偽の申告で保育園に入園できてしまう今の制度は、やはり改善なくてはと思います。さらに、ひとり親家庭の入園・入所審査ポイントが低いのも課題です。今後、担当課と対応を考えたいと思います。

県防災計画修正

神奈川県は、東日本大震災の被害状況から、神奈川県地域防災計画の修正を行いました。東日本大震災により、地震防災対策の一層の充実の強化を図る必要が明らかになったことから、防災基本計画の修正等の国の動向を踏まえるとともに、神奈川県における対応状況や被災地の被害状況などを勘案し、今後速やかに地震防災対策の見直しを行った上で、必要に応じて計画の修正を行うものです。その主なポイントは、1. 神奈川県地震被害想定調査結果及び神奈川県地震防災戦略の反映。減災対策や対策を盛り込む。2. 事前対策の充実・強化。津波対策や男女双方の視点に配慮した防災対策を位置付ける。3. 災害時の応急活動対策の充実・強化。災害医療拠点病院や神奈川県DMAT指定病院に対する被災地への救護班等の派遣要請を位置付ける。4. 復旧・復興対策の充実・強化。義援物資については、個人からの義援物資ではなく被災者のニーズを踏まえた自治体等からの義援物資を優先することを明確にし、

神奈川県大規模災害対策士業連絡協議会との協定に基づいた専門家による災害復興支援活動の要請を位置付ける。今回の修正により、市町村の役割が今まで以上に重要となります。今後鎌倉市でも防災計画の修正を行い、地震災害における対策の拡充を図っていきます。東日本大震災は、鎌倉市における「津波被害」ということを改めて提起しています。14mを超える津波は、「遡上」することでより高さを増していきます。内陸部では海岸から6km地点まで到達しています。また、鎌倉のような「湾」地形は、被災地いたるところで目にする地形です。東日本大震災直後から被災地にお手伝いに伺い、今もお手伝いを続けています。被災地が一日も早く復興を遂げるよう、これからも被災地に向かいたいと思います。そして、鎌倉市地域防災計画の修正を早急に行い、鎌倉市の防災対策を早急に進めなくてはと思います。

始まった砂押川歩道整備

初議会来取り組んでいる砂押川歩道整備ですが、今年度から実際の動きがようやく始まります。まず、基本設計と測量を発注し、年度内に行います。現在は入札のための書類を準備し、早期の公告を行う予定です。合わせて、地元の方々との工程を含めた話をさせていただきます。今秋には、来年度の予算を算出し、年内に予算査定があります。現在の予定では、来年度詳細設計と諸手続きを行い、26年度着工の予定です。政策創造担当で行っている今泉台の街づくりや今泉クリーンセンターの停止などを考えますと、早期着工を行うべきと考えています。後期実施計画でようやく鎌倉市の計画として実現することとなった砂押川歩道整備。9月議会でも、早期着工を質問していきます。

中沢かつゆきの経歴

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業
東京電機大学理工学部情報科学科卒業
スパライズ株式会社代表取締役
大阪観光大学観光学研究所
客員研究員
鎌倉中央ロータリークラブ副会長
材木座保育園保護者会会長
にかいどう子どもの家父母会会長
鎌倉市テコンドー協会顧問
県議会議員中村省司秘書
著書「安全な温泉・あぶない温泉」
(草思社刊)

二階堂在住

事務局：Tel 0467-61-0305

Fax 0467-61-0315

ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？



* 中沢かつゆきは温泉コンサルタントでもあります *

下部温泉：JR身延線・下部温泉駅から続く温泉街、下部温泉郷。信玄隠し湯として名湯百選にも選ばれた温泉です。山梨県は「信玄隠し湯」といわれる温泉が多くありますが、武田軍団の強さを表すこととして語り継がれています。戦国時代、農繁期は戦を避けました。これは戦になると農民も兵士となるからです。戦で受けた傷をいかに早く治すか、これは強い軍団の必須だったのです。武田軍団は名湯を開発し、兵士の傷を癒し、最強軍団となったといわれています。下部温泉は、泉温は低いのですが、その湯に長い時間浸かることができます。最初は冷たくても、だんだん温まってくる。温泉街の風情も歴史を感じ、川の流りに目を覚ますほどです。山間の温泉街として、新緑を愛でながらの旅もいいものです。昨今は、ホテルの里としても知られるようになりました。適応症は、打撲・外傷性の後療法・切り傷・やけど・手術後の療養等です。日常を離れるには、素晴らしい温泉です。戦国の世に思いを馳せて、温泉に浸かるのはいいものです。

<http://www.shimobe.org/>